

斜面崩壊と雨の降り方に関するシンポジウム 北九州 2025
～豪雨災害の特徴から避難までを考える～

論文募集

主催: (公社) 土木学会西部支部, 北九州市
後援(予定を含む): (公社) 地盤工学会九州支部,
(公社) 日本地すべり学会九州支部, (一社) 建設コン
サルタンツ協会九州支部, (一社) 日本応用地質学
会九州支部及び九州応用地質学会, (一社) 北九州
市建設コンサルタント協会

土木学会西部支部「斜面崩壊と雨の降り方に関する警戒避難システムの実用化に関する調査研究委員会」では、斜面の地形、地質や地盤の力学性状および透水性等の情報を用いて、その危険度および崩壊土砂の到達範囲等を予測する手法を開発することを目的として、主に北九州圏域の自然斜面を対象に調査・研究を行っています。

この度、「斜面崩壊と雨の降り方に関するシンポジウム 北九州 2025～豪雨災害の特徴から避難までを考える～」を下記のとおり開催いたします。つきましては、下記のテーマに関する論文および報告を募集しますので、奮って応募いただきますようお願い申し上げます。

期日: 2025 年 11 月 28 日(金), 29 日(土)

会場: 北九州市立男女共同参画センター(北九州市小倉北区大手町 11-4)

募集テーマ:

論文セッション 1: 豪雨による斜面災害の素因(地形・地質・地盤の強度定数等)

論文セッション 2: 豪雨による斜面災害の誘因(雨の降り方＝降雨量, 降雨強度等)

論文セッション 3: 豪雨による斜面災害の警戒避難体制(現状と問題点等)

報告: 豪雨による斜面災害の予知・予防、警戒避難体制に関する報告

概要申込期限: 2025 年 5 月 30 日(金)

内容: 論文・報告は原則として未発表のものとし、上記テーマおよび趣旨に関するものであることとします。

執筆言語: 日本語または英語

ページ数および査読の有無: 論文は 6～12 ページ(偶数)とし、2 名の査読によって採否を決定します。報告は 2 または 4 ページとし、書式の確認およびシンポジウムの趣旨・目的に合致した内容であることの確認のみを行います。

論文集・口頭発表: 採択された論文および報告は当シンポジウム論文集に掲載され、原則として口頭発表(ひとりにつき一編まで)が義務付けられます。ただし、発表者多数の場合は、ポスターセッションになる場合があります。

投稿料: 8,000 円(シンポジウム論文集、シンポジウム参加費含む。論文・報告採択決定時に支払い)

なお、CPD は申請中で、会場やプログラムの概要は 8 月下旬にお知らせいたします。

申込み方法:論文・報告の申込みは下記 URL もしくは QR コードから専用フォームアクセスし、下記の項目を入力してください。

<https://forms.office.com/r/JrV0HjqwUm>

- ・連絡代表者の情報(氏名, 所属, 住所, 電話, Email)
- ・希望セッション
- ・論文・報告題目
- ・すべての著者の氏名・所属
- ・論文・報文概要(和文 500 字もしくは英文 200word 程度)



概要が採択された方には、2025 年 6 月中旬に執筆依頼をお送りします。論文・報告の提出期限は 2025 年 7 月 31 日(木)を予定しています。論文は担当委員会による査読を行い、その採否を決定いたします。採択された論文は修正をお願いすることがあります。

論文集に掲載された著作物の著作権のうち、当該刊行物の編集にかかわる著作権は土木学会西部支部に帰属し、個々の執筆部分の著作権と著作者人格権は執筆者に帰属するものとします。なお執筆者は、学会が第三者から複写に関する著作権利用の許諾申請を受けた場合および学会自らが論文集以外に利用する場合(電子媒体による利用を含む)、これに関する著作権の行使を学会に許諾するものとします。また、これにより学会が著作権使用料等を得た場合は、学会の運営費に充当することを認めるものとします。ただし、執筆者自らが著作権を行使することは妨げません。

※執筆者による転載(の許諾)、複製(の許諾)について学会への申請は不要です。

問合せ先

九州産業大学建築都市工学部都市デザイン工学科 林 泰弘

Email hayashi☆ip.kyusan-u.ac.jp(☆を@に変更して送信してください)

Tel 092-673-5682

シンポジウムプログラム(案)

●北九私立男女共同参画センター利用可能時間

2025 年 11 月 26 日(水曜日) 18時00分～21 時 30 分 ⇒会場準備

11 月 28 日(金曜日) 10時30分～21 時 30 分

11 月 29 日(土曜日) 10時00分～21 時 30 分

期日:2025 年 11 月 28 日(金), 29 日(土)

会場:北九州市立男女共同参画センター(北九州市小倉北区大手町 11-4)

●プログラム案

11 月 28 日(金曜日)

10:30～10:40 山本委員長挨拶

10:40～12:10 第1セッション

12:10～13:10 昼休み

13:10～14:00 基調講演 奥園先生

斜面(法面)崩壊直前と直後の現象比較による崩壊の事前予測

奥園誠之 西日本高速道路エンジニアリング中国株式会社

14:00～14:10 休憩

14:10～15:40 第2セッション

15:40～16:00 休憩

16:00～17:30 委員会報告(WG1 の報告、WG2 の報告)

= 18:00 ～ 20:00 懇親会(小倉リーセントホテル) =

11月29日(土曜日)

10:00～11:30 第3セッション

11:30～11:40 休憩

11:40～12:40 報告

12:40～13:30 昼休み

13:30～17:00 パネルディスカッション

13:30～13:40 パネリストの紹介

13:40～14:00 主催者挨拶(北九州市、土木学会西部支部)

14:00～14:30 基調講演 加藤先生

「多様な専門組織による災害対応と連携のための訓練」

加藤尊秋 北九州市立大学環境技術研究所

14:30～15:30 自治体における警戒避難体制への取り組みについて

鹿児島市 20分程度

北九州市 20分程度

住民の取り組みについて

市内自治会長 10分×2名＝20分

15:30～15:45 休憩

15:45～17:15 パネルディスカッション

コーディネーター 甲木委員

パネリスト 基調講演者 奥園先生、加藤先生

自治体(北九州市、鹿児島市)

北九州市内自治会長 2名

土木学会西部支部 1名

以上 7名

17:15～17:25 閉会挨拶

閉会